

なごや学生社会課題解決プログラム

オープンセミナー



本日の流れ

1. なごや学生課題解決プログラムとは？
2. 活動イメージ
3. おすすめポイント
4. 応募前のチェックポイント
5. 質問タイム

なごや学生 社会課題解決プログラムとは？

名古屋市の“リアルな課題”に、学生チームで取り組む

なごや
学生社会課題
解決プログラム

- ✓ 名古屋市が主催する、
学生向けの社会課題解決プログラム
- ✓ 市役所の各部署から提示される
実際の社会課題に取り組む
- ✓ 学生同士でチームを組み、
調査・検討・提案を行う
- ✓ 活動期間中は、
メンターがチームをサポート



メンターとは？

課題解決に向けたチーム活動のサポートや
プログラム参加中の個別の相談ごとについて支援します！

一緒に頑張りましょう！



- 課題の進め方やチーム活動で迷ったとき
- チーム内で意見が割れているとき
- 実習・インターン等で活動予定が変わりそうなとき
- 体調や家庭の事情などで、
一時的に活動が難しくなったとき
- チームへの伝え方や、役割分担の調整に迷ったとき

などなど…

今年度のMISSION

MISSION 1

**STOP!闇バイト
だまされる前に、
届く言葉を。**



「高額報酬」「即日払い」甘い文句をちらつかせ、若者を犯罪へと誘う「闇バイト」。あなたのアイデアで若者の未来を守ろう!

MISSION 3

**三の丸地区を
“気軽に”、
“居心地良く”するには?**



名古屋城郭内の官庁街である三の丸を“ひらく”に向け、三の丸が「気軽に立ち寄れる」「居心地が良い」と感じるまちになるためには何が必要か?未来を一緒につくっていこう!

MISSION 2

**まだ食べられるのに
もったいない!
食品ロス削減に取り組もう!**



日本では年間約461万トンの食品ロスが発生している。もったいないを減らすため、若い世代へのPR方法や楽しく食品ロス削減に取り組めるアイデア大募集!

MISSION 4

**若い世代に
教員が選ばれる
名古屋を目指して**



教員不足は全国的な課題となっている。若い世代に名古屋市教員を志望してもらうためには、どのような取組が必要か。学生の視点から、新しい発信やアイデアを求む!

本プログラムのスケジュール ★詳細は後程★

- 08月03日（月） 17:00 応募締切
- 08月05日（水） 選考結果通知
- 08月18日（火） PM プレキックオフ 必須
- 08月26日（水） PM キックオフ 必須
- ***08月～10月*チーム活動***
- 10月17日（土） PM 中間報告会 必須
- ***10月～12月*チーム活動***
- 12月19日（土） PM 成果報告会 必須
- 12月20日（日） PM リフレクション 必須

昨年度は、こんな活動が行われました

MISSION 1

平和の大切さを
みんなで考えられる
名古屋を目指して



名古屋空襲により市街地に大きな被害が及んだ5月14日を「なごや平和の日」と定めているのは知っているだろうか？戦後80年が経過し、戦争を知らない若い世代が大半の中、改めて戦争・平和について考える機会が求められる。どうしたら若い世代が平和について考えてくれるだろうか。

MISSION 2

魅力発信！
障害福祉の仕事



障害福祉の仕事というとどんなイメージをもっているだろうか？一言に障害福祉の仕事といってもその種類は様々。障害福祉に携わる担い手不足の今、障害福祉の仕事内容ややりがいを知ってもらい、障害福祉の仕事に就きたい人をもっと増やすためにはどうしたら良いだろうか。

MISSION 3

参加したくなる
地域活動を目指して



近所づきあいは、災害時の助け合いにもつながり、地元のお祭りへの運営の参加は普段の友達関係ではつくれない交友関係も作れる。町内会を始めとしたそんな地域活動に、みんなが参加したくなるにはどうしたらよいだろうか。新しいアイデアを求む！

MISSION 4

日本一地震に強い
大学生のまち「なごや」を
目指して



地域の防災訓練に参加しているだろうか？災害が発生した時の避難場所や非常持出品の準備はできているだろうか？そもそも大学生に必要な「防災」とは？南海トラフ地震に向けて大学生に必要な内容や方法を考えて、日本一地震に強い大学生のまちを目指そう。

昨年度は、こんな活動が行われました

令和7年度は、大学の枠を超えた27名の学生が参加



自己紹介やチームビルディング
課題の深堀りの一歩目を踏み出しました



活動の進捗と課題仮説の共有をし
フィードバックをもらいました

昨年度は、こんな活動が行われました

令和7年度は、大学の枠を超えた27名の学生が参加

最終報告会



担当課題に対しての解決方法
どんな実践をしたか共有しました



実際の制作物も持参して
みんなに共有しました

最終報告会の
様子はこちら

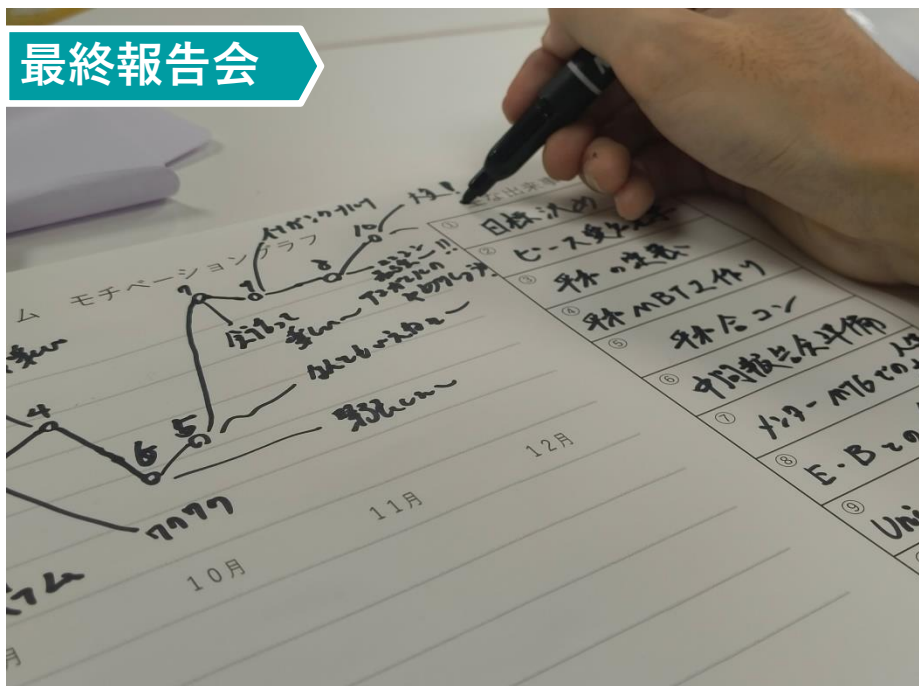


<https://gakusei-town.city.nagoya.jp/news/renkei/entry-548.html>

昨年度は、こんな活動が行われました

令和7年度は、大学の枠を超えた27名の学生が参加

最終報告会



活動の報告だけではなく
振り返りで学びにつなげました



4か月の活動を通して
“課題解決に本気で向き合う”仲間が
できました

最終報告会の
様子はこちら



<https://gakusei-town.city.nagoya.jp/news/renkei/entry-548.html>

昨年度は、こんな活動が行われました

■令和 6 年度成果報告

<https://gakusei-town.city.nagoya.jp/news/renkei/entry-343.html>

■令和 5 年度成果報告

<https://gakusei-town.city.nagoya.jp/news/renkei/entry-279.html>

■令和 4 年度成果報告

<https://gakusei-town.city.nagoya.jp/news/renkei/entry-181.html>

活動イメージ

- 12月20日（日）PM リフレクション **必須**

成果報告会で提案

チーム活動

- ✓ 必須イベント以外は、チームごとに日程を調整
 - 週1回程度のチームミーティングを軸に活動
 - ミーティングはオンライン中心
 - 隔週でメンター、月1回程度市職員(課題提供課)も参加し相談役に
- ✓ 活動内容に応じて、
ヒアリング・現地訪問・イベント準備などを実施
 - 昨年の活動では、大学生121名へアンケート調査、約20名へのインタビュー、ポスティングなどを実施したチームがありました
- ✓ 成果報告会前やイベント直前は、
追加の作業・打ち合わせをしていたチームも

おすすめポイント

机上ではなく、実際の課題に取り組める

名古屋市の担当部署が実際に向き合っている課題について、
学生の視点から調査し、考え、提案することで、
社会課題解決のリアルを捉えることができます。

- ✓ 社会課題の背景を知る
- ✓ 社会課題を自分の言葉で捉える
- ✓ 関係者の声を聞き、課題を深く理解する
- ✓ 実現可能性を考えながら提案する

他大学・他学年の学生と協働できる

いつもの大学生活とは違い、異なる大学や学年、専攻のメンバーでチームを組み活動することで、

これまでは見えなかった課題の見方や、
自分の新しい強みに気づくことができます。

- ✓ 自分とは違う関心や得意分野に触れられる
- ✓ 役割分担しながら、ひとつの成果に向き合える
- ✓ チームで動く難しさと面白さを経験できる

正解がない課題にチャレンジできる！

うまくいくか分からないことに挑戦し、
試行錯誤する経験そのものが、これからの生きる力になります

- ✓ 仮説を立て、実際に調査やイベントを行う
- ✓ 思った通りにいかなかったことも、
反応をもとに、次の打ち手を考える
- ✓ 学生だからこそできる切り口で挑戦できる

重要なのは正解を出すことではなく試行錯誤をすること。
チャレンジすることで、自分の可能性を広げていきましょう！

こんな人におすすめ！

- ✓ 名古屋市や地域の課題に関心がある
- ✓ 社会課題について、実際に動きながら学びたい
- ✓ 他大学・他学年の学生とチームで活動してみたい
- ✓ 行政やまちづくり、教育、環境、防犯などに関心がある
- ✓ 自分の関心を、社会との接点につなげてみたい
- ✓ 正解のないテーマに挑戦してみたい

応募前のチェックポイント

応募前のチェックポイント

- ✓ 必須イベントの日程に参加できること
- ✓ 8月～12月のチーム活動に継続して取り組めること
- ✓ チームメンバーと連絡を取りながら進められること

活動中の困りごとは運営事務局やメンターに相談可能です！
1番大切なのは「やるぞ！」という気持ちです！

応募方法

- 募集締切

08月03日（月）17:00まで

- 対象

名古屋市内及び近郊にキャンパスを置く
大学・大学院・短期大学
専修学校の専門課程の学生

- 応募方法

募集要項を確認のうえ、
応募フォームから申し込み

申し込みはこちら！



<https://forms.cloud.microsoft/r/c5FYMwd0HD>

質問タイム

よくある質問1

- ✦ 活動頻度はどれくらい？サークルやバイトと両立できる？
- ✦ 1人で応募しても大丈夫？
- ✦ 社会課題に詳しくなくても大丈夫？
- ✦ 担当課題やチームはどう決まる？
- ✦ 最終報告会ではどんな発表をする？

よくある質問1

★ 活動頻度はどれくらい？サークルやバイトと両立できる？

去年は、基本は週1~2程度、メンバーとの調整の上、授業前の朝やバイト後の夜に活動をしていました！

★ 1人で応募しても大丈夫？

全く問題ないです！過去の参加者の方のほとんどが1人での応募です！プログラム参加者同士で活動を通して仲を深められます！

★ 社会課題に詳しくなくても大丈夫？

現時点で詳しい必要はございません！活動を通して調査をしたり、試行錯誤することで社会課題のリアルを知っていきましょう！

★ 担当課題やチームはどう決まる？プレキックオフでの課題提供課の課題プレゼンを聞いて改めて希望調査、イベント中の様子も踏まえつつ運営でチーム編成を考えます！

★ 最終報告会ではどんな発表をする？

社会課題解決策だけではなく、実践した結果や、そのアイデアができるまでの経緯、試行錯誤も発表いただきます！

よくある質問2

- ✦ 参加者は何年生が多いの？
- ✦ チーム編成は異なる学年で組まれるの？
- ✦ 活動で集まるときなど、何か条件はある？（服装、髪型など）
- ✦ 現地調査はどのように行う？
- ✦ 大学に入学したばかりで専門知識などないけど、大丈夫？

よくある質問2

✧ 参加者は何年生が多いの？

就職活動を意識した2~3年生が少し多めですが、学年を問わず、幅広く参加いただいています。

✧ チーム編成は異なる学年で組まれるの？

学年や大学などのバランスを考慮してチーム編成を行います。

✧ 活動で集まるときなど、何か条件はある？（服装、髪型など）

基本的には自由ですが、訪問の場合は訪問先に配慮した服装・身だしなみをお願いします。

✧ 現地調査はどのように行う？

チームで調査先や方法を考えます。AIやネット検索ではわからない、現地での学びを体験してください。

✧ 大学に入学したばかりで専門知識などないけど、大丈夫？

専門知識は不要です。関心と挑戦する気持ちがあれば大丈夫です。

よくある質問3

✦ 参加必須イベントの活動時間はだいたい何時間くらい？

よくある質問3

★ 参加必須イベントの活動時間はだいたい何時間くらい？

プレキックオフ、キックオフイベントは
12時半~17時ごろを予定しています。
その他についても大体4~5時間程度の予定です。

アンケートの回答にご協力ください



<https://forms.cloud.microsoft/r/kLPPynjMAY>